

本報告書について

ハロウィンの時期である 10 月中、多くの店や施設がハロウィンの準備を始め、デコレーションや、関連商品の販売を始めていました。学内でも、ハロウィンイベントの正体などが多くなっていました。

9 月からは打って変わり、気温は急激に低下し、平均気温は 13 度程度となっています。現地の人からすると今年は異常で、本来はさらに寒いとのことでした。

本報告では、現地の学生の様子と、引き続き受講中の講義について報告させていただきます。



図 1 ハロウィンにかぼちゃを持ち歩く友人



図 2 デコレーションがされたカフェテリア

現地の学生の様子

講義が始まったばかりの 9 月とは変わり、講義の難度向上や中間試験などが増えてきたため、ほとんどの学生が常に忙しそうにしています。イリノイ大学の中心となっている Illini Union では、1 日を通して、長椅子やソファで寝ている学生が多く見受けられます。課題やテストの勉強で疲れていることがよくわかります。私自身もそれらに多くの時間をかけ、疲れが溜まっているとわかります。現地の学生は私よりも多くの講義を受講しているので、更に大変だと思います。

友人の話では「アメリカの大学の講義自体は対して難しくないけれど、テストや課題が大変だと思う。普通の講義で教えてもらえる内容の五倍くらい難しい課題やテストがでる。」とのことでした。私もこの感覚は CS225 の講義で感じています。

11 月には感謝祭が控えていますので、それまで精一杯頑張るといった姿勢です。

各種講義について

CS225 Data Structure

課題の難易度もあがり、かなりの時間を割いている講義です。課題自体は 2 週間かけて行うのですが、課題受け取り後の 1 週目の金曜日にボーナス点がもらえる提出日があり、それにまでに決められた所まで行うことを目指しています。また、金曜日に Lab というものがあり、普通の講義とは別の課題が出ます。この提出日が二日後の日曜日となっているため、休日を使って課題を行います。難易度はそれほど高くありませんが、少しひねった考えかたが必要なので、一度詰まるとうまくいきません。

競技プログラミングのような課題が多いため、ロジックを考える力がついていきます。更に、課題の趣旨が提示された仕様にそって実装を行うというもので、実際にある情報系の職で行われること近いと感じます。

CS427 Software Engineering

講義の前半がおわり、最も重点を置く評価対象である、チームプロジェクトが始まりました。8人のチームで一つのプロジェクトを行います。メインテーマは Apache プロジェクトの一つである Maven を Jenkins 上で駆使し、その Jenkins 自体のプラグインを作成するというものです。私たちのチームは既存の情報通知プラグインを改良し、新しい機能を追加するというものです。8人の中で更にペアをわけ、私は中国からの留学生と共に XML ベースのプロトコル XMPP を利用した、Jabber というインスタントメッセージシステムに情報を送信する。というものを行っています。英語でのディスカッションなどがとても大変です。伝えたいことを伝えるのに時間が掛かるのはチームに申し訳なく感じてしまいます。経験も豊富な学生が多く、足手まといにならないようにするのが精一杯といった感じです。日本では経験したことのないような迅速な開発がとても勉強になります。

CHIN201 Elementary Chinese

中国語の講義は簡単とは言えませんが、他の講義に比べまだ余裕を持って行えています。やはり漢字で意味を捉えられるアドバンテージがあるためだと思います。文字も繁体字のため親しみやすいです。先生は中国出身のため、繁体字が難しいらしく、時には簡体字で文字が書かれる時もあります。講義自体も楽しく、何人か友人ができたため一緒に夕食などを食べに行くこともあります。

アメリカでこの講義をとるのは自分でも意味があるのかと考えた時もありますが、日本ではなかなかできない貴重な体験をしていると感じました。それは、「その日習った言葉をその日のうちにネイティブとして聞ける」ということです。

もちろん日本でも英語や中国語を聞く機会がありますが、ここでは留学生がその言語を日常生活として利用しています。中国人の友達が中国語で会話している時に、その内容の端々がわかってくるのはとても新鮮です。特に英語とは違い、全くの知識がない言語なため、その新鮮さは不思議な感じでした。そして英語同様、実際に使われている言語が身近にあると覚えてきます。前回の報告書で書いたように、複数の言語を扱えるのが普通の地域ということもあり、とても楽しめていると感じています。

以上で10月分の報告とさせていただきます。